

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(植物成長調整剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
エテホン	エスレル	植物成長調整剤	エチレン剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
エテホン	エスレル	植物成長調整剤	エチレン剤	捕食性天敵	ナナホシテントウ	なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
エテホン	エスレル	植物成長調整剤	エチレン剤	クモ類	ハリゲコモリグモ	なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
インドール酪酸	オキシベロン	植物成長調整剤	オーキシン剤	天敵類	天敵全般	使用方法から見て、暴露の恐れなし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ジクロルプロップ	ストップール	植物成長調整剤	オーキシン剤	天敵類	天敵全般	有害影響認められず		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ベンジルアミノプリン	ビーエー,ベアニン	植物成長調整剤	サイトカイニン剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカムシ	1,200ppmで影響なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ベンジルアミノプリン	ビーエー,ベアニン	植物成長調整剤	サイトカイニン剤	捕食性天敵	ヤマトクサカゲロウ	1,200ppmで影響なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ベンジルアミノプリン	ビーエー,ベアニン	植物成長調整剤	サイトカイニン剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	1,200ppmで4%死亡		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
クロルメコート	サイコセル	植物成長調整剤	矮化剤:ジベレリン合成阻害剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	実用濃度で影響なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
クロルメコート	サイコセル	植物成長調整剤	矮化剤:ジベレリン合成阻害剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカムシ	実用濃度で影響なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
クロルメコート	サイコセル	植物成長調整剤	矮化剤:ジベレリン合成阻害剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	実用濃度で72時間後補正死亡率7.1%		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
プロヘキサジオンカルシウム塩	ビビフル	植物成長調整剤	矮化剤:ジベレリン合成阻害剤	寄生性天敵	寄生蜂	(10%顆粒水和剤)LR.50; >5,000g製剤/ha(48時間)		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
プロヘキサジオンカルシウム塩	ビビフル	植物成長調整剤	矮化剤:ジベレリン合成阻害剤	捕食性天敵	ヤマトクサカゲロウ	(10%顆粒水和剤)NOEL; >5,000g製剤/ha		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005

影響内容の記号の見方 [出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの]

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(植物成長調整剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
メビコートクロリド	フラスター	植物成長調整剤	矮化剤;ジベレリン生合成阻害剤	捕食性天敵	ヒメクサカゲロウ幼虫	実用濃度で影響なし		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
メビコートクロリド	フラスター	植物成長調整剤	矮化剤;ジベレリン生合成阻害剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	実用濃度で48時間後補正死亡率7.7%		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
パラフィン	アピオン-C,アピオン-E,アグロガード,パンガードA,ベタンV,ステッケル	植物成長調整剤	蒸散抑制剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	なし		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
パラフィン	アピオン-C,アピオン-E,アグロガード,パンガードA,ベタンV,ステッケル	植物成長調整剤	蒸散抑制剤	捕食性天敵	ナミテントウ	なし		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
パラフィン	アピオン-C,アピオン-E,アグロガード,パンガードA,ベタンV,ステッケル	植物成長調整剤	蒸散抑制剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	なし		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ギ酸カルシウム	エコルーキー	植物成長調整剤	その他の植物成長調整剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	(100倍)48時間後3.5%		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ギ酸カルシウム	エコルーキー	植物成長調整剤	その他の植物成長調整剤	寄生性天敵	メアカタマゴバチ	なし		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ギ酸カルシウム	エコルーキー	植物成長調整剤	その他の植物成長調整剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	(100倍)48時間後32.1%		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シアナミド	CX-10,ヒット13	植物成長調整剤	その他の植物成長調整剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	死亡率3.3%(48時間)		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シアナミド	CX-10,ヒット13	植物成長調整剤	その他の植物成長調整剤	寄生性天敵	ハモグリミドリヒメコバチ	直接採餌 死亡率0%(24時間),7%(120時間),壁面接触 死亡率4%(24時間),40%(120時間)		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 x:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 x:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(植物成長調整剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
シアナミド	CX-10, ヒット 13	植物成長調整剤	その他の植物成長調整剤	寄生性天敵	ミツクリクロタマゴバチ	死亡率76%(24時間), 95%(7日間)		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シアナミド	CX-10, ヒット 13	植物成長調整剤	その他の植物成長調整剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	死亡率0%(24時間), 3.3%(48時間)		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シアナミド	CX-10, ヒット 13	植物成長調整剤	その他の植物成長調整剤	捕食性天敵	ヒメクサカゲロウ	死亡率3.3%(48時間)		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%